

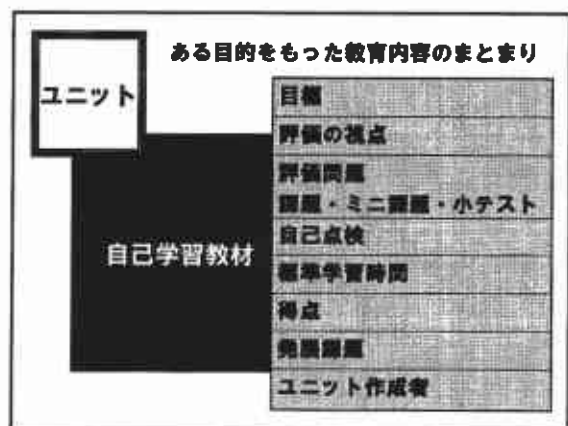
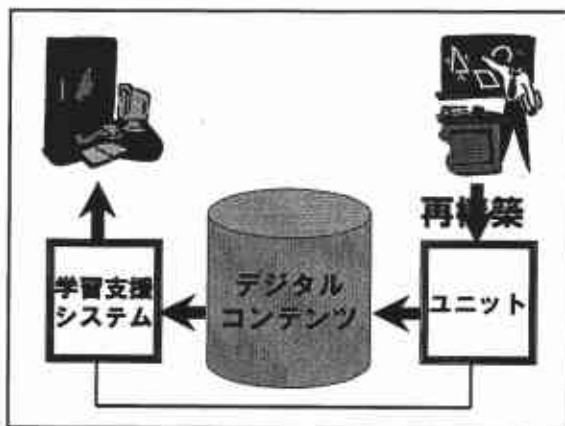
ネット、コンピュータ上に学びの場を創る

豊田学園女子大学国際文化学部
情報コミュニケーション学科
山本 恒

インターネット大学の基本コンセプト

通信教育とは異なる

ネットワーク上に
実在感のある学校、教室を！



ユニットとは

学習教材が準備されているだけではない

目的を持った学習の小単位

学習目標・内容が明らかになっている
(どんなことを学習するのか?)

最終目標としての課題が明らかになっている
(何が出来るようになるのか?)

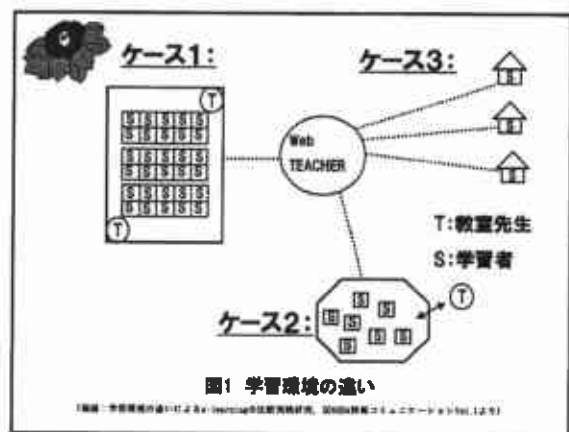
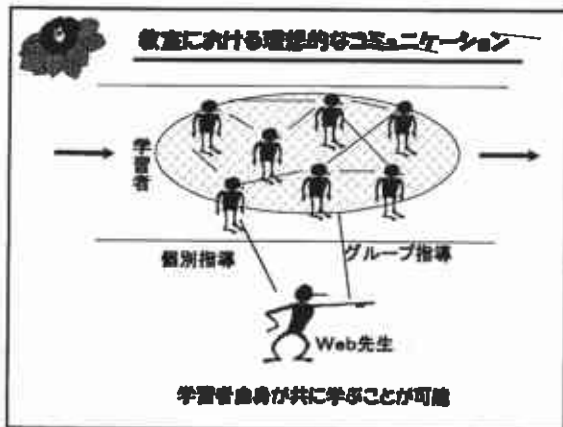
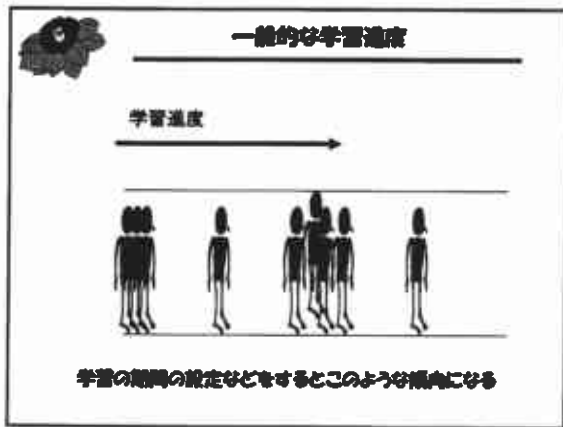
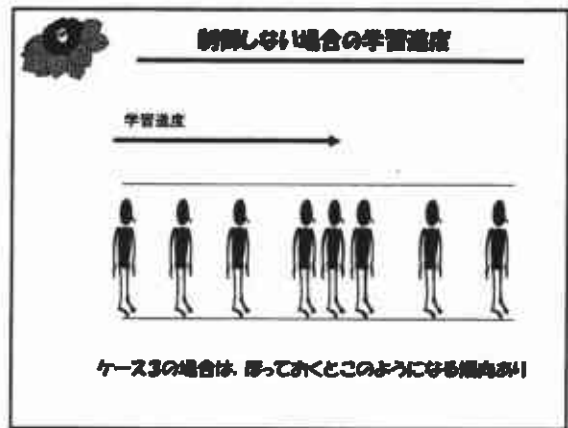
評価の視点が明らかになっている
(どのような視点で評価されるのか?)

学習時間、得点が明らかになっている
(何時間ぐらい学習に要するのか? 何点もろえるのか?)

学習支援システム

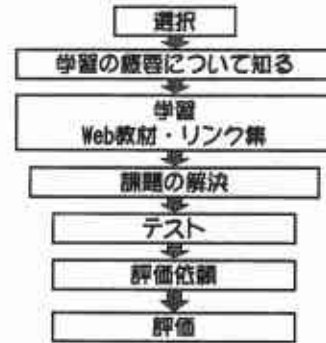
ネット上に
共に学べる
場を提供

そのだインターネットキャンパス



事例1 情報倫理

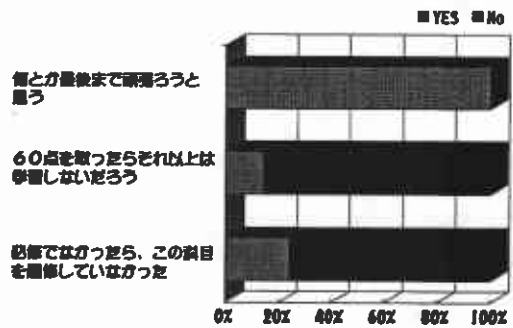
2. 学習の流れの概略



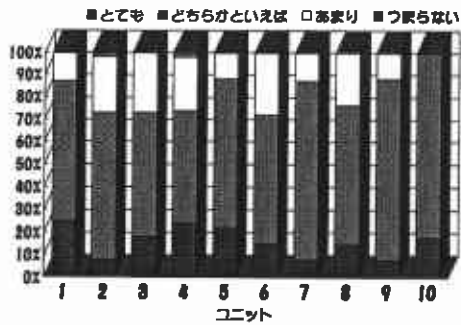
3. 学習内容と課題・評価の視点-2

ユニット6 情報公開制度			
項目	情報社会における情報公開制度の基礎 情報公開制度の意義 オプスマンの役割	単元6 テスト	回答方法：コースの提示順の順番 6に提示 あり(10問)
三二 単元	あなたが提示してほしいと思う 国の行政文書ファイルを選択し、 その中から3つの文書ファイルを選 び、提出し、提出する行政 文書が指定できるように、行政 文書ファイルの名前、作成機 種、作成時期などを合わせて詳しく 書くこと	評価 の視 点	1) 単元6 (30点満点) 提示されたように、Webページを 読んで、オプスマンの役割や意 義などについて、あなたの自身の 意見が述べられているか？ 2) 三二単元 (30点満点) 提示する行政文書が指定できるよ うに詳しく文書名が3つ挙げられ ているか。 3) 山テスト (4点満点 7点以上 で合格、1回目は合格4点、2回目は 合格3点、3回目以降1点)
単元 6	オプスマンの名義について、 その役割や責務、権限など、あ なたが感じたことを自由に書き なさい。字数は約300文字程 度。		

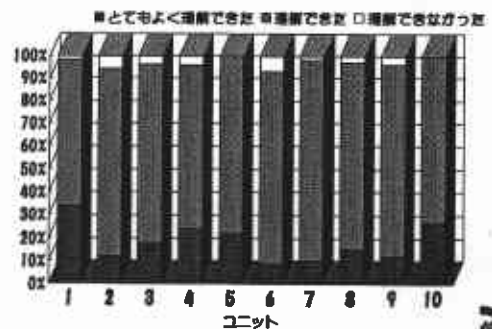
学習に対する意欲



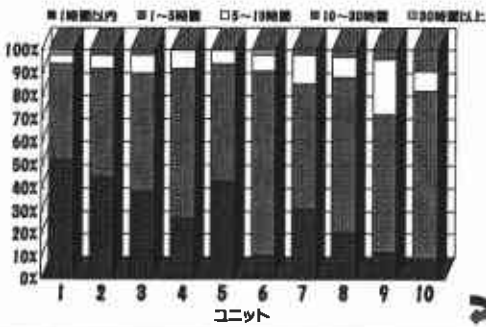
このユニットはおもしろかったですか



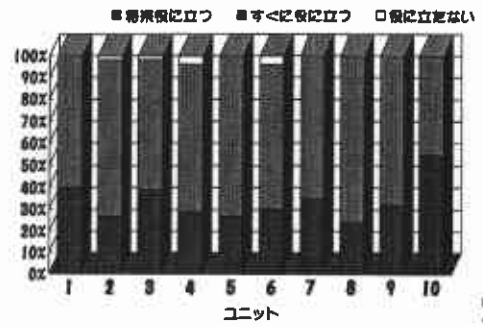
このユニットの内容を理解できましたか



このユニットを終えるまでにあなたはどのくらい時間を使いましたか



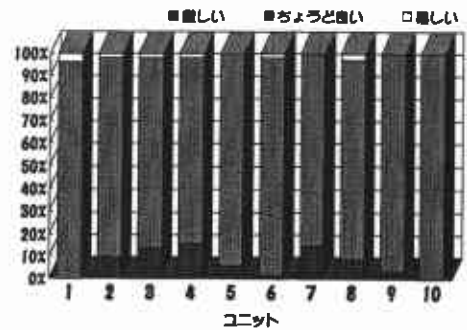
このユニットはあなたにとって役に立つと思いますか



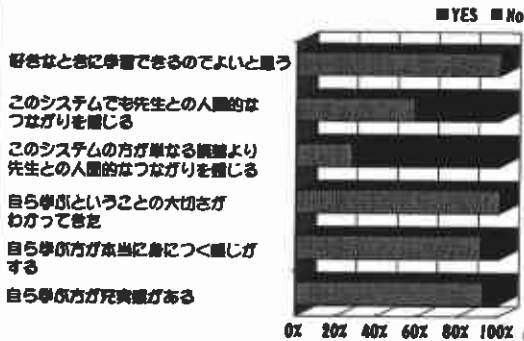
テストの有効性

- 学習の成果がリアルタイムに確かめられる
- 緊張感がある
- ゲーム性があり集中になってしまう

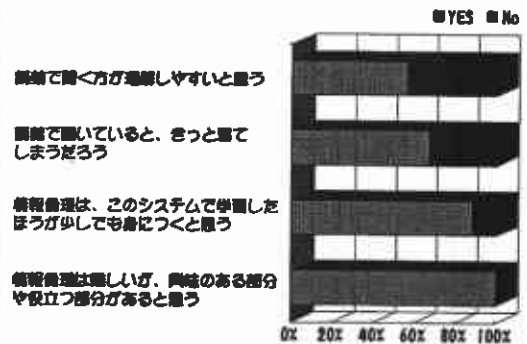
あなたが受けた評価をどう思いますか



先生とのつながり、自ら学ぶということ



講義授業とe-learningとの比較



私の購読よりも、きわめて有効であったと考えている。

学生たちは計画的に学習が進まず、自分をコントロールする苦しみをひしひしと実感したようである

その1 e-learning は、

自ら学ぶ自己学習である

そのためには・・

自ら学ぶことを意識したコンテンツの作成を

その2 e-learning は、

授業のポイントが感覚でつかめない

そのためには・・

何かできるようになるのか
どのように評価されるのか
何点もらえるのか

その3 e-learning は、

一人で孤独だが通信教育ではない

そのためには・・

学習者同士が共に学べる工夫や
コミュニケーションツールが大切

その4 e-learning は、

常に新しい教材が必要

そのためには・・

簡単に作り直せたり
追加できたりできる
使いやすいツールが必要

その5 e-learning は、

LMSだけでは成立しない

そのためには・・

キャンパスに付加価値を
実在感のあるキャンパスを構築

その6 e-learning は.

教師一人だけでは成立しない

そのためには..

副担任・ヘルパーなどによる
分業が可能でなければならぬ

その7 e-learning は.

教師一人だけではコンテンツが
作成できない

そのためには..

支援体制が必要
産学協同コンテンツ開発の試行

その8 e-learning は.

いろんな考え方の教師がいる

しかし

システムはシンプルに